



【さんぺい武後援会ニュース】

未来へとどけ！ エコシティ ひたちなか

発行 NO.63

発行月：2024年4月

発行者：さんぺい武後援会

住所：ひたちなか市毛1077

電話：029-273-6826

3月定例議会

令和6年第1回ひたちなか市議会3月定例議会が3月4日から25日間にわたり開催されました。本定例議会では、5件の報告案件の説明と令和5年度一般会計補正予算と令和6年度予算、また条例の一部改正、人事など全52件の議案を審議し、全議案を原案の通り可決成立しました。

今回は令和6年度予算の概要と主な事業内容、令和5年度補正予算の内容、トピックスについて報告します。



賛成討論に登壇

令和6年度ひたちなか市予算の概要

【令和6年度予算総額】

一般会計	607億1,300万円 (対前年度比+18億3,300万円/3.1%増)
特別会計	480億9,556万円 (対前年度比+19億5,360万円/4.2%増)
合計	1,088億856万円 (対前年度比+37億8,660万円/3.6%増)

一般会計について、歳入の根幹を成す市税は、景気の緩やかな回復から、法人市民税は増収を見込み、個人市民税は定額減税の影響により大幅な減収となる見込みです。定額減税による減収分は国からの補てんがあるものの、社会保障関連経費や物価高騰などは続いており、基金からの繰入金により財源を確保しました。歳出では、雨水幹線整備や河川改修などに引き続き取組むほか、高場陸橋の4車線化、笹野消防署建設は、令和6年度供用開始に向けて推進します。また、第4次総合計画や観光振興、新中央図書館建設を予定する中心市街地エリアのまちづくり計画など、本市の将来につながる各種計画の作成に着手します。30周年事業としては、様々な分野において、1年間を通して記念事業を実施するなど、一般会計は過去最大となる607億1,300万円の予算になりました。

令和6年度の主な事業内容と予算：抜粋

1. 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり

・【継続】雨水幹線整備事業 2,316,190千円

浸水被害解消に向け、高場流域においては高場雨水1号幹線、高場雨水4号幹線及び雨水調整池の整備を、大島流域においては大島第2幹線の整備を進めます。また、東部第2や武田など土地区画整理地内において、雨水幹線の整備を進めます。

・【継続】広域消防運営事業 328,989千円

指令システム及びデジタル無線システムの全面的な更新を含めた消防本部・笹野消防署の庁舎建替について、令和6年度末の供用開始をめざし、常陸那珂・東海広域事務組合において庁舎建設工事を進めます。



笹野消防庁舎イメージ図

2. 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

・【拡大】地域包括支援センター運営事業 151,250千円

地域包括ケアの要となる地域包括支援センターについては、相談支援体制の充実・強化を図るため、新たに1か所を増設します。

3. 子育て世代に選ばれるまちづくり

・【新規】乳児健康診査(1か月児)事業 6,241千円

乳児の健康保持や虐待の予防及び早期発見の効果があることから、新たに生後1か月頃の乳児に対する健康診査用の助成を行うことにより、出産後から切れ目のない効果的な伴走型相談支援を実施します。

・【拡大】子どもの居場所づくり支援事業 20,277千円

子どもふれあい館、放課後の子どもの居場所づくりなど、地域社会との交流により子どもたちの社会性を育む取組みについて、引き続きそれぞれの地域の実情に即した支援を行います。また、子どもたちの遊び、集いの場として成長を続けている長松子ども館について、子ども館の機能充実に加え、地域における子ども支援の拠点機能など、施設の拡張整備を支援します。

・【新規】学校給食公会計化事業 725,228千円

学校給食の会計処理を令和6年度より私会計から公会計に移行します。引き続き安全安心な学校給食の提供と安定的な運営に努めます。

4. 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

・【継続】ふるさと納税推進事業 200,862千円

ふるさと納税については、返礼品提供事業者及び返礼

品の拡充により寄付額は順調に伸び、令和5年度は3億円を突破しました。引き続き、地場産品や体験型など、本市ならではの返礼品を拡充するとともに、本市の魅力発信や産業の活性化、寄付受入れ件数の増加による自主財源の確保につなげていきます。

5. 快適で機能的な住みよいまちづくり

・【新規】新中央図書館整備事業

74,657千円

東石川第4公園敷地内に建設する新中央図書館について、設計業務に着手します。市民の皆様からいただいたご意見等も踏まえ、幅広い世代が居心地よく利用できる魅力的な図書館の建設に取り組めます。



中央図書館建設予定地

・【継続】東中根高場線整備事業 140,400千円

本市と水戸市、那珂市を広域に結ぶ「水戸・勝田環状

道路」の一部として、交通の円滑化や地域間の連携強化に資する重要な路線であることから、本年12月末の完全4車線での供用をめざし、引き続き整備を進めます。

6. 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

・【新規】協働のまちづくり推進事業 390千円

将来にわたり持続的に発展する地域コミュニティの実現のためには、市民活動団体同士の連携が重要であることから、地域において活躍する多様な活動団体の交流の場として「自治会×市民活動団体 まちづくり協議会 cafe」を開催し、まちづくりの更なる活性化を図ります。

・【新規】第4次総合計画策定事業 14,658千円

令和8年度を初年度とする第4次総合計画策定に組み込みます。市民の皆様と一緒にまちづくりを考えていくキックオフイベントや多様な市民が参加するワークショップ等を開催することで、幅広く市民の声を聴き、計画に反映させていくことに努めます。

【令和5年度一般会計予算5億6,582万8千円を増額補正】：主な補正内容

1. 地域公共交通利用喚起事業補助金 ---+28,000千円

基幹的な地域交通について、定時定路線での運行を維持するため、利用促進を目的に1日フリー券の割引販売の実施を補助する。

2. ひたちなか・東海クリーンセンター運営業務負担金 ---+25,862千円

物価高騰等による運営費用の増に伴い、ひたちなか・東海クリーンセンター運営業務負担金を増額する。

3. プレミアム付地域商品券発行事業補助金 ---+156,329千円

物価高騰の影響を受ける市民の消費を下支えするとともに、市内経済の活性化を図る、ひたちなか商工会議所が行うプレミアム付地域商品券発行事業を補助する。

4. 小・中学校施設整備事業 ---+351,713千円

津田小学校給食室改修事業、長堀小学校北門改修工事、大島中学校北側フェンス改修工事において、国庫補助である学校施設環境改善交付金の事業採択が前倒しされたことに伴う事業費を増額する。

トピックス

▶市制30周年記念事業

本年11月に、ひたちなか市は旧勝田市と旧那珂湊市の合併により誕生してから30周年という、大きな節目を迎えます。本市の価値や魅力を再認識し、誇りや愛着を高められるよう、1年間を通して、様々な分野において記念事業を実施します。

<抜粋>

- 1. 「セントラルリーグ公式戦 巨人VS中日」：4/23(火) ■ひたちなか市民球場
- 2. 「Lucky Fes」：7/13(土)、7/14(日)、7/15(月) ■国営ひたち海浜公園
- 3. 「ロックインジャパン」：9/14(土)、9/15(日)、9/21(土)、9/22(日)、9/23(月) ■国営ひたち海浜公園



ひたちなか市副市長に「吉富耕治」氏を選任しました。

令和2年度から副市長に就任した「渡邊政美」氏が令和6年3月31日で任期満了となるため、後任の副市長に「吉富耕治(よしとみこうじ)」氏の選任が提案され、議会で同意されました。同氏は、茨城県庁に入庁されて以降、政策企画部地域振興課長、総務部財政課長、茨城県産業技術イノベーションセンター長などを歴任されています。(任期：令和6年4月1日～令和10年3月31日)

ひたちなか市教育長に「秋本光徳」氏を選任しました。

平成30年度教育長に就任した「野沢恵子」氏が令和6年3月31日で任期満了となるため、後任の教育長に「秋本光徳(あきもとみつのり)」氏の選任が提案され、議会で同意されました。同氏は、昭和61年に茨城県教育委員会に採用され、茨城県教育庁学校教育部長、茨城県教育研修センター所長などを歴任されています。(任期：令和6年4月1日～令和9年3月31日)

ハーフタイム

シジミは古代から親しまれた食材で、万葉集の歌には「四時(しじ)美(み)」の漢字が当てられています。四時は春夏秋冬を指し、四季を通じた食材という意味で使われたとも言われています。シジミに豊富に含まれるオルニチンはアミノ酸の一種で、肝臓の働きをサポートします。アルコールを飲むと体内でアンモニアが増加しますが、オルニチンはアンモニアを無毒化するため、二日酔いも改善されます。「飲酒した後は必ずしじみ汁」という方も多いのでは。他にもタウリンやビタミンB群、カルシウム、鉄分などが含まれていて、疲労回復や美肌効果という効果があります。本県は、全国有数の漁獲量を誇り、知られるのは涸沼産。漁獲量は県内の約6割を占め、500円玉ほどもある大振り、身が肉厚なのが特徴です。4月23日は、語呂合わせから「シジミの日」とされますが、旬は夏冬の年2回。特に身が太るという「土用のシジミ」はこれからの楽しみです。